

部屋にしながら風を感じる
風景と一体化する心地よいリビング



R30の夢を実現した人に聞く—
理想の家の買い方&過ごし方

家作り Recipe of の MY HOME レシピ

都内に家を建てるとなると、土地代+建築コストを考えると
頑張っても30坪前後がリアルな話。
でも駐車スペースも欲しいし、庭もできれば手に入れたのが本音。
今回取材したS邸は、トレンドの草屋根を屋上に設置し、
駐車場も庭もあきらめなかったという成功ケース。
設計期間を1年近くかけた、会心の家作りだ。

広さと明るさをもちあうスケルトン階段
木目調の壁と床は、自然素材の温もりを演出。階段の踊り上りには、木製のベンチを設置。白い壁に黒いアクセントをプラスして、モダンな印象を演出。



広々としたバスルームには
こだわりの市松模様タイル
光がふんばるに美しい市松模様タイルは、浴室にふさわしい。シャワーヘッドと蛇口はインタリネットで見つけた。



まるで公園にいるような気分になれる草屋根
屋上には、広々とした芝生と、天気のよい日には富士山を眺めながら、コーヒーを飲む。庭がなくても、まるで公園にいるような気分になれる草屋根。



足元の暖かさを演出するスケルトン階段
木目調の壁と床は、自然素材の温もりを演出。階段の踊り上りには、木製のベンチを設置。白い壁に黒いアクセントをプラスして、モダンな印象を演出。



コントラストを効かせた素材の壁
木目調の壁と床は、自然素材の温もりを演出。階段の踊り上りには、木製のベンチを設置。白い壁に黒いアクセントをプラスして、モダンな印象を演出。



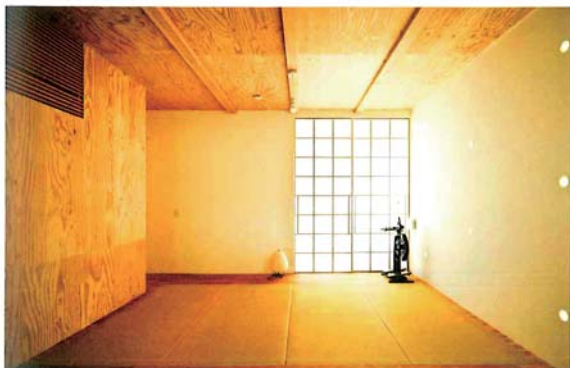
もともとはデザイナーズ賃貸に暮らしていたSさんご夫婦がマイホーム探しをはじめたのは、2008年の秋ごろ。当初は割安感のある中古の戸建てを中心に見ていたが、なかなか気に入った家に出会えなかった。そこで、土地探しへとシフトしていった。「エリアも広く考えていたので、さまざまなタイプの土地を見ましたが、結局は整形地＆角地という王道へ。このエリアは建ぺい率が低いので、建ぺい率が上増しされる角地にして正解でした」。購入後は、知り合いの建築家と綿密な打ち合わせを1年近く重ね、理想の家を作り上げた。オーダーしたのは、「草屋根、土間、和室がほしいのと、風通しがよくて、ウッディな感じ」。南側一面窓にし

たりビングは、まるでリビング全体がテラスのような開放感が味わえる。「気軽に友人が立ち寄れるようにと設けた土間ですが、雨の日も濡れた傘やコートを乾かしたり、大きな荷物を一時的に置いたり、とにかく使い勝手がいい。草屋根は想像以上に心地いいですね。コストを省ける、でスタイリッシュに見えよう、梁を生かしたりと建築家・道楽洋さんのアイデアも気に入っています」引越しが趣味というほどマンションや長屋など数々の賃貸住宅に住んできたから、いざ自分の家を建てるとき、理想を形にしやすいかと話すSさん。若いうちの賃貸暮らしもあながち無駄ではなさそう。



可変性のある書斎&ワークスペース

将来の間取り変更も考慮にいった書斎は、南向きに窓があるため、地下とは思えないほど明るい。写真奥に見えるウォークインクローゼットと手前に8畳ほどの収納を完備している。



ふきとりの壁と障子が美しい土間続きの和室

建築家が行燈をイメージしたという和室。ふきとと呼ばれる技法で仕上げた壁が、ほのかに白く上品な雰囲気。手前の太鼓張りの障子で土間と仕切れば独立した客間としても使える。



コンクリートに畳、木や障子 表情豊かな素材感を愛でる家

本当は知りたい！ ここだけのお金の話

「当初は、7500万円くらいが予算だったんですけど、結局見つけた土地は5000万円強、建築費で3500万円程度かかったので予算オーバーに。はじめの見積もりで7000万円と言われた建築費は、建築家による設計見直しとコスト調整、施工会社の競合により、節減に努めた。RC造と木造のMIXなので、どうしても建築コストが分かってしまいました。が、広さをとれたのでよしとします」。独身時代から貯めた5000万円を現金に、10年を目標に返済を頑張る予定。

自家用車を所有しないSさんご夫婦の足は自転車。商店街が近く、駅までのアクセスや買い物は自転車でも事足りる。玄関右に駐輪スペース。左側の駐車場はゲスト用。

